



さよならのドライブ ロディ・ドイル／作 こだま ともこ／訳

フレーベル館 2014.1

主人公・メアリーの大好きなおばあちゃんは、年をとって入院中。そのおばあちゃんを心配しているのは、メアリーやメアリーのママだけではなく。若くして死んでしまったおばあちゃんの母親もまた、3歳で残していった“娘”がいっまでも気がかりで…。12歳の少女メアリー、母親のスカーレット、祖母のエマー、そして曾祖母の幽霊のタンジー。アイルランドを舞台に4世代の女性がそれぞれの日常生活や思いをユーモアをまじえていきいきと語りながら、受けつがれていく命と家族への愛情を描く物語。

(知立市図書館 ママミア)



浅田家 浅田 政志／著

赤々舎 2008.7

家族はめんどくさい。そっとしておいてほしいのにおせっかいを焼くかと思えば、悩んでいるのに気づかなかつたりする。いっそひとりで暮らしたい！そう思ったら、この写真集を見てみて。写っているのは、泥棒、忍者、暴走族などに扮した浅田家の人たち。思わずニヤけてしまうようなものばかりだけど、すごいのはどんなシチュエーションでもやっぱり家族に見えること。何より、こんなあほらしくてすてきな写真、家族じゃなきゃ撮れないでしょ。

(名古屋市鶴舞中央図書館 苔)



所属館名は執筆当時のものです。

第2号 (2015年1月15日発行)
編集 愛知県公立図書館長協議会
ヤングアダルトサービス連絡会
事務局 愛知県図書館
名古屋市中区三の丸一丁目 9-3
TEL 052-212-2323

ティーンのための

Aichi Librarians' Choice

A・L・C あるく

no.2

愛知県内の図書館員がティーンのために

オススメの本を紹介するA・L・C

第2回のテーマは **家族！**

● お母さんってば …p1 ● お父さんったら …p3 ● 家族って？ …p5

● ファンタジック★秘密ちっく …p8 ● 家族愛っ！ …p11

半田市立図書館

ブックんとしおりちゃん



碧南市民図書館

へきにやご

お母さんってば

弁当男子 池田 将友／著 PHP 研究所 2013.11

今時流行りの〇〇男子かと思いきや、料理上手の弁当男子なんてどこにも出て来やしない。出てくるのは、ちょっと不器用な高校生と、飄々とした教師と茶色のしょっぱい弁当。ということは、高校生が弁当をつくれるようになる話か。それも違う。じゃあ一体どういう話？それを読んで確かめてほしい。答えにたどりついたとき、ちょっぴり泣けて、とっても温かい気持ちになれる一冊。 (あま市美和図書館 .OuO.)





真夜中のパン屋さん 午前0時のレシピ

大沼 紀子／〔著〕 ポプラ社 2011.6

女子高生・希実（のぞみ）の母は、いつも娘を知人に預けてばかり。今回の預け場所選ばれたのは、真夜中に開店するパン屋「ブーランジェリー・クレバヤシ」。オーナーである美和子の腹違いの妹として訪問するが、彼女はすでに他界。彼女の夫・暮林とパン職人の弘基と生活することになった希実は、そこでさまざまな事件に巻き込まれていく。希実と母、暮林と美和子、そして登場人物たちの家族関係はどれも複雑。でも、嫌いだと思っただけ、ピンチの時に頼ってしまうのがきつと「家族」なんだよね。（名古屋市鶴舞中央図書館 千雪）

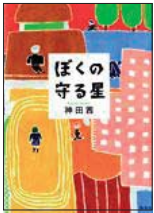


ぼくの守る星 神田 茜／著

集英社 2014.3

中二の翔は、ディスレクシアという読み書きの障害を抱えていた。でも、クラスメイトはそのことを知らない。間違った言葉を発する度に笑われ、お調子者の山上にはお笑いの才能があるなんて言われてしまう。そんな翔を心配するあまり、翔の重荷になっていく母。そして家族と向き合わない父。山上や、翔が気になっている中島さんも、実は家庭に複雑な事情を抱えていた。登場人物それぞれの視点で描いた、命の大切さがじんわりしみる短編集。

（愛知県図書館 にゃん）



ベーグル・チームの作戦

（カニグズバーグ作品集 2）

カニグズバーグ／〔著〕 松永 ふみ子／訳 岩波書店 2002.1

ママがぼくらの野球チームの監督に、スポンサー兄さんがコーチになったおかげで12歳のマークのプライバシーは脅かされ続けることに！知らなくていい自分の評価点数はわかってしまうし、チームでの野球の評価も公平じゃない気がする。おまけに親友は、引越ししてから元・親友になってしまった…。自由でユーモアのあるママ、しっかり者で批評家の兄スポンサー、そんな家族をどしりと支えるパパそして思春期まっさかりのマークの魅力的な一家を中心に、熱いリトルリーグの1シーズンが描かれています。

（刈谷市中央図書館 すず）



家族愛っ！

東京バンドワゴン 小路 幸也／著 集英社 2006.4

東京は下町の大家族、堀田家。家業は古書店とカフェ。〈文明開化の些事諸問題なら、如何なる事でも万事解決〉を家訓に掲げ、舞いこむ謎を堀田家が解決いたします！懐かしいホームドラマのような、あったかい気持ちがたくさん詰まっています！（津島市立図書館 ★）



彗星物語 上・下 宮本輝／著 角川書店 1992.5

家族ってうっとうしいな…、邪魔くさいな…、でも、やっぱり寂しいし、必要なんだな。大家族の城田家に訪れたハンガリーからの留学生と、家族が巻き起こす日々の騒動を、世代ギャップや文化ギャップがありながらもすったもんだで乗り越えたり、修めたり、解決してゆく。後ろ向きでない愛すべき人々が大切なものを教えてくれます。この本を読んだのはまだ自分が独身時代。母となった今の自分ならまた新たな感想を持つことでしょう。家族をくるみこむような愛を持った太陽みたいな母でありたいけれど…。城田家の母に視点を当てて読み返してみたいです。人間くさい飼犬のビーグル「フック」がストーリーのスパイス的な主役級の名脇役になっています。犬好きの人にもおすすめ。（あま市美和図書館 KT）



父の詫び状 向田 邦子／著 文藝春秋 2006.2

昭和という時代に暮らす人々の息づかいやぬくもりを感じられる一冊です。読む人を心から楽しませてくれる数々の物語の中に、思わず笑ってしまうようなユーモアと、家庭のあたたかさが溢れています。厳格な父親のこと、年老いてゆく母親のこと、読んでいて目頭が熱くなるような、そんな心打つ作品が収められています。24からなる物語のどこかにあった自身の思い出と、これからの未来に重なる何かがあるかもしれません。

（一宮市立中央図書館 テディ）





カフェ・デ・キリコ

佐藤 まどか／著

講談社 2013.4

中学2年生の霧子はイタリア人の父と日本人の母を持ち、日本で暮らしていた。だが、父と祖父の突然の死により、霧子は祖父のギャラリー・カフェを引き継ぐことに。イタリア・ミラノに母とともに移住した霧子は無事にカフェをオープンさせ、様々な人々と交流を深めていく。しかし、後半衝撃の事実が明らかされ…？家族の絆の物語。

(武豊町立図書館 LiS)



兄妹パズル 石井 睦美／著

ポプラ社 2010.5

普通の家庭の普通の子供高生、清水亜実。父親と母親と兄二人の5人家族。一番上の浩一は、クールで美男で頭も良い。下の兄の潤一は外見より中身で勝負のムードメーカー。そんなムードメーカーの潤一が突然家出をした。家出後に届いた葉書には「思うところあってしばらく家をです」とだけ書いてあった。潤一の家出の原因がわからないまま3ヶ月が過ぎるが、その頃、亜実の脳裏に幼い時の記憶がよみがえってくる。その、昔の記憶が呼び覚ます家族の秘密が解けた時、潤一の家出の原因を亜実は知る。(碧南市民図書館 ごん太)



ラン 森 絵都／作 理論社 2008.6

はじめて“あちらの世界”に行ったのは日くつきの自転車くモナミ1号で猛スピードで走行したことから始まるのだが…9年前に次々と死んでしまった家族に会いたい一心で“あちらの世界”までの道のりを自らの足で走り抜く決意をする環の成長を丁寧に描いたファンタジー。人を突き動かす動機は様々ですが、何事も一步一步、時には挫けながらも進んでゆく。そこには後押しする仲間がいる。家族の愛や友情がいっぱい詰まった素敵な物語をご堪能あれ！！

(あま市美和図書館 バムセママ)



メジルシ 草野 たき／著

講談社 2008.5

両親の離婚が決まり、自分も寮のある高校へ進学することになった双葉。父の提案で最後の家族旅行へ行くことになった。ビミョ〜な空気の中、双葉は普段聞けなかった母の本音や自分の右手のヤケドの秘密を知ることになるが…。旅行中は普段いえないことをいうチャンスだったりします。家族に本音をぶつけてみれば、思ってもみなかった反応や意外な一面を発見できるかもしれません。

(田原市中央図書館 ひら)



でりばりい Age

梨屋 アリエ／著

講談社 1999.5

中2の夏休み、真名子は古びた家に住む一人の浪人生と出会う。彼と語りあううちに、真名子の心にある変化がおとずれる。家族に対する苛立ち、友人関係の悩み、進路の不安…そんな思春期の少女の揺れる気持ちを描いた作品。特に、母親に対する気持ちがリアルに表現されていて、思わず納得してしまう。読み終わると、自分が全てを吐き出したかのように、すがすがしくなることだろう！<講談社児童文学新人賞受賞作>

(あま市美和図書館 あめちゃん)



お父さんったら

キネマの神様 原田 マハ／著

文藝春秋 2008.12

歩は、17年間勤めた会社に辞表を出した。その直後、母からの電話で父の入院を知る。そして、父の「ドデかい借金」もみつかる。行方不明になったり、ギャンブルに懲りない父と、娘である歩も、ともに一番の趣味は映画。その映画を介して、壊れそうな家族と閉館間近の名画座「テアトル銀幕」の物語。人のつながりと人の気持ちが何かを動かす。“キネマの神様”はいるのか？

(刈谷市中央図書館 大熊猫)





パパとムスメの7日間 五十嵐 貴久／著

朝日新聞社 2006.10

ある日突然、パパとムスメの中身が入れ替わっちゃった！？
 パパは女子高生に、ムスメの小梅は47歳のおじさんに…。
 最初は何が起きたのかさっぱりわからなかったふたり。でも、
 この状況をどう説明しても誰にも理解してもらえない
 ので、とりえず普段の生活をしてみることに。会社や学校
 に行っても大丈夫なの！？ってか、お風呂やトイレはどうするの！？ドタバタ感が
 おもしろくて、さっと読めちゃうよ☆でも、自分がそうになったら絶対困る…(-_-)
 (岡崎市立中央図書館 落花生)



娘に語るお父さんの歴史 重松 清／著

筑摩書房
2006.2

父親が嫌い！！
 家族円満？…
 あり得ない！！
 そう思ってる
 君。それは何
 故なんだろうね？やっぱり生
 きてきた時代の違いでしょー
 …って。でも何だか漠然とし
 てるよね。この本は、君達の
 父親世代が過ごした幼年期～
 青年期をただ懐かしい思い出
 話としてではなく、一つの歴
 史書として客観的に書かれて
 います。どのようにして今の
 父親世代の大人たちが出来上
 ったか(笑)わかってもら
 えたらいいなあ…。

(刈谷市中央図書館 MI)



お父さんがキモい理由を説明するね

中山 順司／著 泰文堂 2014.5

中学生の娘に「キモい」
 といわれるお父さん。思
 春期だからといってジッ
 と耐える？いいえ、この
 お父さんは違います。キ
 モいと言われる事に納得
 がいきません。納得がい
 かないので話し合おうの
 です。ガチでトークするの
 です。結果はいかに？！こ
 れは、三か月に及んで、
 父と娘が、様々なテーマを
 ゆるく、気負わず、でも真
 面目に話しあった実録で
 あり、お父さんだけでなく、
 お母さんやおじいちゃんも
 巻き込んだ三世家族討論
 会の記録です。インターネット
 の人気コラムの待望の書籍
 化、ぜひ手にとってみて下
 さい☆

(安城市中央図書館 滝川)



ブレイブ・ストーリー 上・下

宮部 みゆき／著 角川書店 2003.3

宮部みゆきさんの長編冒険ファンタジー小説です。主人公の
 亘(ワタル)はゲームのような異世界・幻界(ビジョン)に伝わる「女
 神のもとに辿りつけば願いを叶えてくれる」という伝説を信
 じ運命の塔を目指します。そんな亘の願いは「母親と離婚し
 別の女性と暮らしたい」という父親を引き留めることでした。けれど冒険の途
 中、亘の家と状況が同じ人たちと出会います。そこで家族を捨てようとする父
 親に「子どもの気持ちを考えろ」と亘は言うけれど…。ハラハラドキドキの冒
 険だけじゃない、家族を見直すきっかけになるお話です。

(武豊町立図書館 りんご)



アンティーク FUGA 1～6

あんびる やすこ／作

岩崎書店

2007.8～2010.7

両親が突然姿を消した。そのため、風雅
 はおばさんの家に移ることになり、引越
 しの準備をしていた。その時、父か
 らもらったセコイア杉のお守りから、
 木霊・シャナイアが出てきて、「お前
 の願いはなんだ」と問いかけた。風
 雅の願いは、「ぼくの兄さんになっ
 て！」兄となった紗那と共に、両親
 を捜しはじめたが、次々とつくも神
 たちが問題を運んできて風雅の日常
 は一変！新しい兄・唯も登場して無
 事両親を探し出せるのか。

(江南市立図書館 夕那久)



わからん薬学事始 1～3

まはら 三桃／著

講談社

2013.2～2013.6

薬の製造を唯一の産業
 とする島「久寿理島」
 で、470年間女子直系
 一族だった木葉家に突然生まれた
 男子・草多は、大事に育てられて
 きた。女性のみを受け継がれてき
 た「気休め丸」の製法を改良する
 ために、15歳の春、草多は島の運
 命を背負って東京へと旅立つ。そ
 して草多の出生の秘密も明らかに
 …！？日本版「ハリー・ポッター」
 とまではいかないけれど、男子版
 「魔女の宅急便」のような作品。

(常滑市立図書館 あきんこ)





顔のない男

イザベル・ホランド／作 片岡しのぶ／訳

富山房 1994.7



チャールズは、4人家族ですが、母と姉にバカにされ、妹には思いやりを求められる生活にうんざりしています。母は結婚が趣味のような人で、3回結婚し、3兄弟の父はすべて違う人です。母も姉も妹も頭脳明晰なので、チャールズは劣等感と疎外感で今にも心が爆発しそうです。しかし、自分に干渉しない大人の男に出会い、心の拠り所を見出していきます。同性愛の芽生えに、チャールズは驚き、戸惑い、嫌悪しますが、現実から逃げ出さずに生きることを学びます。
(東浦町中央図書館 C.N)

ファンタジック★秘密ちっく

ふたつの月の物語 富安 陽子／著

講談社 2012.10



家族に恵まれない二人の少女、美月（みづき）と月明（あかり）は、津田という富豪の婦人に山中にある別荘に呼び寄せられた。14年前の4月に生まれた“月”に出生の手がかりのある子どもを探していたというが、どんな思惑があるのか。ダム湖に眠る村にまつわる秘密が美月と月明の出生の秘密とどう関係があるのか。謎を解明していくほどに過去に生きた二人の実の母親の姿が明らかになり、美月と月明の関係もわかってくる。過去を生きた親の運命を知り、現在を生きる自分たちをみつめることができた二人だったが…。ミステリータッチで一気に読める物語だ。
(みよし市立中央図書館 ムーンレディ)

オレンジガール

ヨースタイン・ゴルデル／著 猪苗代英徳／訳

日本放送出版協会 2003.10



ある日15歳のゲオルグのもとに、突然1通の手紙が届く。その手紙は、なんと10年以上も前に死んでしまった父親からのものだった。「ドキドキするはなしをしよう」そうをはじめ父の長い手紙には、家族への思いと、会うこともできない大人になった息子へのメッセージ、そしてオレンジガールとの物語がつづられていた。人生とは？時間とは？病気の父がゲオルグに伝えたかったこととは？そして、父と出会ったオレンジガールの正体とは？
(田原市渥美図書館 すぎ)

気になる本があったら
図書館で借りて読んでみよう！
もし近くの図書館になくても、
他の図書館から取り寄せてもらえるよ。
受付のひとに聞いてみてね。



名古屋子ども読書活動推進計画
マスコットキャラクター
ヨンデルー

家族って？

幸福な食卓 瀬尾 まいこ／著 講談社 2004.11

私の家族は、自殺未遂を試みて失敗した父、それを気にかけて家を出て離れて暮らす母、進学校を卒業したのに大学へ行かず、農業をして暮らす兄の直ちゃん、そして私の4人。ある朝、父さんが「父さんは今日で父さんを辞めようと思う」と言いました。仕事を辞め、大学受験をするというのです。家庭崩壊しているようで元通りにはいかないけれど、みんなで朝ごはんを食べ、父さんは子どもたちを見守り、母さんは時々家にやって来て掃除をしたり夕飯を作ってくれました。私が落ち込んでいる時も、父さんや母さんは見逃しませんでした。心が寄り添う家族の物語。
(半田市立図書館 まぬち)





リリース 草野 たき／著

ポプラ社 2010.4



父の跡を継ぎ医者になることを親戚中から期待されている明良。しかし、本当はプロのバスケットボール選手になりたいという夢を抱えていた。自分の気持ちをもて余しながら突入した中2の夏、ある事件をきっかけに、部活、友達、そして家族との関係が崩れはじめた。自分で思っているものと、人から見えているものって違う。友達も家族も、みんな一人の人間として大切なものを抱えながら生きている。当たり前だけど見失いがちなことを気づかせてくれる作品。

(安城市中央図書館 ひろ)

島はぼくらと 辻村 深月／著

講談社 2013.6

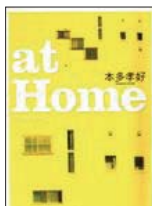


瀬戸内海に浮かぶ島、冴島に住む4人の高校生の話です。が、シングルマザー、伝統的な網元の一家、父親にひっぱられての1ターン、島独特の「兄弟」などたくさんの「家族」のわたがが登場します。「子どもたちはいつか島を離れる。いつまでも家族一緒にいられるわけではない」ということが通常より強く意識される、島での暮らし。その中で様々な経験をしながら4人は過ごし、やがて巣立っていくことになります。「いってらっしゃい」「いってきます」そして「おかえりなさい」「ただいま」の言葉をしみじみ大切にしたいくなる、そんな物語です。

(名古屋市南図書館 弓)

at Home 本多 孝好／著

角川書店 2010.10



父は泥棒・母は詐欺・長男は文書偽造など様々な犯罪で生活する一家、日曜日を一緒に仲良く過ごす血の繋がらない父娘、借金の返済代わりに偽装結婚した夫婦、妹の抱える問題に皆で悩むばらばらになっている家族…いわゆる「普通」の家族ではない家族の短編集です。どの家族も色々な問題を抱えています、皆で悩んで解決しようと頑張る所に絆を感じます。血の繋がりが家族じゃないと読んだ後に思える作品です。

(田原市中央図書館 みいこ)

日本一の女 斉木 香津／著

小学館 2014.6



誰よりも働き者で、たくさんのお子に恵まれ、事業を成して称賛を浴びながらも、誰にも理解されず、家族にも嫌われた鼻つまみ者のサダ。美人でも、従順でも、善良でなくても、誰からも疎まれてもただ一人己が正しいと思うことを貫きとおすサダと、彼女に振り回される家族やご近所さんたち。はたして正しいこととは正解なのか。潔く、力強いサダの生き方と彼女を取り巻く人々の悲喜を描いた、まさに日本一の女の一代記です。

(東栄町図書室 三橋)

正しいパンツのたたみ方

南野 忠晴／著

岩波書店 2011.2



どちらの「パンツのたたみ方」が正しいのかケンカしている両親。それって重要？くだらない？それとも…！？

英語の教員から、大阪府立高校で初の男性家庭科教員になった南野さんは、いろいろな疑問を投げかけます。「ペットは家族だと思う？」「犬や猫は家族？」「カメも家族？」家族って、好きな人とつきあうって、自立して生活するって、何だろう。日常の「当たり前」について、立ち止まって考えるためのヒントがつまっています。

(犬山市立図書館 M)

ふたりのママから、きみたちへ 東小雪、増原 裕子／著

イースト・プレス 2013.12



小雪さんと裕子さんはレズビアンのカップルです。愛し合っている二人は結婚式を挙げ、やがて自分たちの子どもを迎えたいと思うようになりました。この本は、二人のママから、いつか出会う自分たちの子供に向けた、愛情溢れるメッセージです。同時に、「どうして子供がほしいの？」「どうやって偏見から生まれてきた子供を守るの？」等、人々の様々な疑問に、一つ一つ丁寧に、穏やかに答えています。人生で困難に立ち向かう時、何が必要なのかを教えてください。一冊です。

(安城市中央図書館 杏)